

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	保健体育課長 佐藤 正範	電話番号	0852-22-5722
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	平成28年度全国高等学校総合体育大会開催事業		
目的	(1) 対象	児童生徒、開催競技団体	
	(2) 意図	平成28年度に島根県で開催される全国高校総体に向けて選手強化を図るとともに、大会の円滑な運営を図る	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度全国高校総体開催に向け、運動部活動の振興強化のために、中学生及び高校生の選手強化を図る。 平成28年度全国高校総体開催に向けて準備を円滑に進めるため、県実行委員会を設立し競技環境の整備を行うとともに、開催市町の準備を支援する。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 入賞種目数	目標値		20.0				種目数
		取組目標値						
	式・定義 全国高校総合体育大会において入賞した種目数	実績値	17.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	66,381	334,035
うち一般財源 (千円)	66,381	328,365

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基じた現状)

<ul style="list-style-type: none"> 特別強化校6校1専門部を指定し、県外遠征を延べ45回実施した。 実施希望のあった6校1専門部において、県外強豪チームを招請し、合同練習や練習試合を延べ25回実施した。 一般強化指定校11校、2競技団体を指定して県外遠征を延べ31回実施した。 全国中学校体育大会等の全国レベルで活躍する選手を育成するため、4競技を指定して県外遠征を延べ4回実施した。 15競技の指導者を対象に、県外先進校や研修会等へ指導者を延べ28名派遣し、指導者としての資質向上を図った。 H28全国高校総体開催に向けて平成27年4月に実行委員会を設立し、開催市町における実行委員会との連携を図りながら準備を進めてきた。 平成27年度より各競技の専門教員が会場地に従事し競技種目別大会の開催に向けた業務を行っている。
--

6. 成果があったこと(改善されたこと)

<ul style="list-style-type: none"> 特別強化指定校においては、全国高校総体と全国高校選抜において2校3種目の入賞があった。 特別強化指定校招請合宿によって、全国レベルを肌で感じることができ、全国入賞につながった。 H28全国高校総体で島根県において開催する4つの競技のうち2競技10種目において、インターハイや全国中学などの全国規模の大会で、優勝者や入賞者を出すことができた。 指導者の県外研修については、特に先進校視察において、全国レベルで活躍する学校やチームの練習を見学することができ、指導者にとって大変良い意識付けとなった。 大会開催のための県実行委員会を設立し、開催市町と連携しながらより具体的な準備を行うことができた。
--

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別強化指定校を指定して強化を進めることができた競技について、H28全国高校総体終了後もいかに継続した強化を行っていくことができるか 一般強化指定校として強化を行った競技についても、本事業終了後も継続した強化を図っていくこと 指導者の資質向上と意欲向上のための、継続した県外研修への参加と県内指導者への伝達
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業終了による、中・高校生の県外遠征費等を補助するための強化費の減少 全国規模の大会開催終了後の士気の低下
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 各競技種目の指導力のある教員の適正配置と県外遠征費の十分な補助 指導力向上と指導意欲の向上のための指導者への支援 継続した全国規模の大会の開催と、それに向けた選手強化

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<ul style="list-style-type: none"> H28全国高校総体がゴールではなく、この大会をきっかけにして、各競技団体が全国規模の大会で活躍できるように強化費の十分な補助を行っていく H30全国中学の島根県開催など、全国規模の大会を継続的に開催することで、強化の火種を絶やさないようにしていく
--

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)

--